

2014 年 7 月 25 日

構造的に緩まない革新的なネジの事業化を行う

株式会社 NejiLaw への出資を決定

株式会社産業革新機構（以下「INCJ」）（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：能見公一）は、構造的に緩まないネジの事業化を行う株式会社 NejiLaw（以下「NejiLaw」）（本社：東京都江東区、代表取締役社長：道脇裕）に対し、今後の開発に必要な資金として 7 億円を上限とする出資を行うことを決定しました。

また、NejiLaw に対しては、三菱 UFJ キャピタル株式会社（MUCAP）（本社：東京都中央区、代表取締役社長：安藤啓）が運用するファンドも出資を行いました。

ねじは構造物の締結に欠かせない部品として広く使われていますが、ねじに起因するトラブルの多くは緩みが原因となっています。有史以来、人類は数々のねじを発明してきましたが、それらは雄ねじと雌ねじとの間の摩擦力により緩みにくくしているものでした。

NejiLaw は、螺旋構造を持たないボルトフォームに、特殊構造の右ねじナットと左ねじナットを螺合させることで、史上初めて構造的に緩まない「L/R ネジ」を開発したベンチャー企業です。更に、構造的に緩まない Zaloc ボルト等を発明し、50 件を超える特許取得等を行っています。緩まないネジの事業化は、ねじの緩みに起因する事故を大幅に減らし、社会の安全・安心に貢献するだけでなく、定期点検などのメンテナンスコストを削減することが出来ます。

NejiLaw は、緩まないネジの構造に関する知財に加え、製造～検査プロセスに関する知財も取得しており、小型（M1.4 程度）の L/R ネジに関する量産システムを開発しています。2011 年には東京都ベンチャー技術大賞を受賞、翌年には戦略的基盤技術高度化支援事業に採択を受けました。また、研削工具及びねじ量産用金型大手のオーエスジー株式会社（本社：愛知県豊川市、代表取締役社長：石川則男）と共同開発を行っております。更に今般、産業界でニーズが大きい中型（M8 程度）の L/R ボルトを対象とした量産システムの開発に関し、株式会社 IHI（本社：東京都江東区、代表取締役社長 斎藤保）と共同研究を行う契約を締結致しました。

NejiLaw は、自社での製造販売のみならず、ライセンス供与、製品・分野ごとのパートナーとの共同事業運営も視野に、緩まないネジを含む締結分野全体のイノベーションの実現を目指します。

INCJ は NejiLaw に対して、今後の開発及び事業推進に必要な資金を供給するとともに、社外取締役の派遣、事業開発体制の強化、事業パートナーとの提携支援等の経営サポートを行います。INCJ は本投資を通じて、安全な社会の実現に貢献するとともに、日本発の超高性能締結部材の産業化と海外展開を支援してまいります。

株式会社 NejiLaw（ネジロウ）について

設立	2009 年 7 月
事業内容	ネジを含む接合ソリューションの技術開発・製造・販売・ライセンシング
本社所在地	東京都江東区
代表取締役社長	道脇 裕（みちわき ひろし）

株式会社産業革新機構（INCJ）について

INCJ は、2009 年 7 月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約 2 兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJ は、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

INCJ では、これまでに合計 70 件・総額約 7,500 億円の投資決定を発表しました。当面、環境エネルギーにも関連するエレクトロニクスや IT の分野、バイオ・ライフサイエンス分野、水ビジネス等インフラ関連分野などにおいて、知財ファンドによる先端的な基礎技術の事業展開、ベンチャー企業等の事業拡大、技術等を核とした事業の再編・統合、海外企業の買収等による積極的な海外展開などに対してハンズオン投資を行ってまいります。

（本発表資料のお問い合わせ先）

（株）産業革新機構（INCJ） 企画調整室 津野・畑

東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング21階

電話：03-5218-7200（大代表）